

# 姫城中学校だより



令和7年 8 月 27 日 校長 深江 祐史

## 二学期が始まりました

34 日間の夏休みが終わりました。皆さんの夏休みはいかがだったでしょうか。充実していたと自信をもって言えない人もいるかもしれませんが、まずは、大きな事故等の報告がなかったことを校長としてはうれしく思います。全国的には水の事故など悲しい報道がなされる中、姫城中生は、しっかりと生活してくれたようです。

さて、8 月 26 日の始業式では、3 名の生徒に「二学期の抱負」を述べてもらいました。

1 年代表の 平田 和香奈さんは、①体育大会を青団のリーダーとして頑張りたい②無言清掃を頑張りたい③学級の授業中の私語を先生方に注意されることをなくしていきたい④行事を通して周りとのコミュニケーションを活発にして、一学期よりも多くの人と交流していきたいと、学級や学年の仲間と一緒に頑張りたいとの思いがうかがえる内容でした。

2 年代表の 福留 みいなさんは、夏休み一番印象に残ったこととして、朝早くからの部活動で、仲間との絆そして自分の成長が感じられたことを挙げました。暑い中、苦しい体験を一緒にするから生まれた関係、また、それを乗り切れた自分、大事な夏になったようです。また二学期は①授業で分からなかったことをそのままにしない②自分も周りも大切にすることに挑戦したいとの抱負を述べました。

3 年代表の 早田 晃良さんは、①自分の進路を決める時期であることを自覚し、受検を見越した取組をしたい②チャイム黙想、呼びかけを徹底したい③大きな行事を最終学年として悔いの残らない思い出に残るものにしたい④3 年生全員が進路目標を実現できるよう、団体戦の気持ちで臨みたいとのことでした。自分自身そして、これまで一緒に過ごしてきた学年の仲間の成功を祈る気持ちが感じられるものでした。

各学年で、少しずつ違いますが、それぞれ今の自分の気持ちを忘れずに、盛りだくさんの二学期をしっかりと頑張ってもらいたいです。

その後、私からは、全校生徒に対して以下の話（抜粋）をさせていただきました。

（略）今から3つ話をします。

まず、今月、うれしい報告がありました。本校から鹿児島で行われた九州大会に出場した陸上部の 嶽野 由空さんが走り高跳びで 6 位入賞に輝きました。大会は大雨で実施が心配されるものでしたが、見事 自己ベストを出したようです。大きな大会で結果を出すのは難しいと思いますが、本当にすごいことです。とても暑い中での大会で、体調管理も大変だったと思います。どうぞ、その経験を今後の糧にしてほしいと思います。また、この夏休み中に県大会や地区大会、コンクールで、多くの部活動が活躍しました。本当にお疲れ様でした。運動部の多くが新チームになりました。9 月中旬以降には秋の大会があります。とても楽しみにしています。

2 つめです。今年の夏は、都城で中体連の複数の競技の九州大会や全国大会が開催されました。そんな中、補助員として頑張ってくれた生徒の皆さんがいますね。ありがとうございました。お陰で、無事に大会を終えることが出来ました。なお、本校の先生方の中にも、長い期間、役員として頑張られた先生もいらっしゃいます。本当にお疲れさまでした。

また、夏休み期間中、地域のまつりやイベント等でボランティアとして頑張ってくれた皆さんがいますね。これも暑い中で大変だったことと思います。地域の方から感謝の言葉をいただいています。

本校が目指すのは【自立・感謝・貢献】できる生徒です。2 学期も地域で様々な行事が予定されていますが、どうぞ主体的に、仲間と協力して、自分たちの地域に貢献してください。地域の方は楽しみにしておられます。

最後です。3 つめです。こちらをご覧ください。みなさん、このキャラクターを知っていますか？  
そうです、熊本県のゆるキャラ「くまモン」です。

実は、私は先週後半、熊本に出張でした。九州地区の中学校の校長先生方が集まる大きな研究会だったのですが、その会の始まる直前に生（なま）くまモンが登場しました。ゆるキャラの中では断トツの人気を誇っているようで、グッズ販売などで、その経済効果は、1200億円とされています。現在、熊本県庁には「くまモン課」という課まであるそうです。

すごいですね。で、その1200億円の経済効果を生んだプロジェクトですが、当時の熊本県知事である 蒲島知事 が県庁職員に話した一言で始まったそうです。

それは、「**皿を割れ**」という言葉です。

皆さんは、家の手伝いで、お皿を洗ったことがありますか？その中で、失敗して皿を割った経験のある人はいますか？「あ、しまった…」と本当に悲しい気持ちになりますよね。割れた食器のかげらを拾って集める時、なんとも情けない気持ちになりますよね。

でも、蒲島知事は、職員に「皿を割れ!」と言ったそうです。

皿を割るのは、皿を多く洗っている者。皿をたくさん洗うからこそ失敗もする。

逆に、皿を割らない一番の方法は皿を洗わないこと。挑戦しないこと。

皿を割るという失敗を恐れていては何もできない。

割れた皿の周りには山ほどのピカピカになった皿がある。失敗恐るるに足らず。

こういう話をしたそうです。

全校生徒の皆さん、二学期は、体育大会があります。文化発表会があります。本番もさることながら、本番までの過程で、いろんな場面で、勇気を出さなければならない時があるかもしれません。でも「皿を割れ、です。」「失敗恐るるに足らず、です。周りには信頼できる仲間もいるはずですよ。挑戦してみましょう。」

1, 2 年生の皆さん、それよりも前、9月にあるのが生徒会役員選挙です。急な変更で、少し変則日程になりましたが、勇気を出して 皿を割るぐらいの気持ちで挑戦してみてはいかがでしょうか。

それでは、生徒の皆さんの二学期の活躍を楽しみにしています。